

平成17年

7月

No. 501



広 報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>



▲句碑の完成を祝い、 黛まどかさん（写真右から2人目）や入選者代表の林とみ代さん（写真左から2人目）らを囲んでテープカット

“愛”に包まれ華やかに — 愛の園遊会 —

今年の園遊会は、6月5日に「村民の森あいの沢」で行われ、入選者や家族、関係者ら約100人が出席して、句碑の完成を祝いました。

また、歌舞伎俳優の十代目・坂東三津五郎さんの句碑も完成し、記念の除幕式が行われました。（関連記事2～3ページ）



大いなる田舎 まていうイフ・いいたて

黛まどかさんや
入選者らを招き

6/5

愛の園遊会



▲句碑を眺める参加者ら

「愛」をテーマとする俳句を募集し、俳人の黛まどかさんによって選ばれた50句を、村産の御影石に刻んで永く保存する「愛の俳句事業」。

平成16年度入選作品の句碑がこのほど完成し、「あいの沢」にて、黛まどかさんや入選者などを招き「愛の園遊会」が開催されました。

また今回は、黛さんと交遊のある歌舞伎俳優の坂東三津五郎さんの句碑も園内に完成し、坂東さん本人も出席して除幕式が行われました。

さらに50句

愛の句碑

今回の句碑は、「あいの沢」管理棟東側の遊歩道入口に設置されました。句碑は、上から見ると大きなハート型に並べられているものと、縦置きに配されたものの2種類。平成13年度から取り組んできた「愛の俳句事業」設置された句碑の数は、今回の句碑を合わせて200になりました。

なお、平成16年度からは「原子力等立地地域振興支援事業」の補助を受けて取り組んでいます。

記念セレモニー

(会場・句碑設置場所)

はじめにテープカットが行われ、黛まどかさん、菅野村長、横山村議会議長、箱崎忠一福島県原子力等立地地域振興事務所長、入選者代表でブラジルから参加した林とみ代さんの5人がテープにはさみを入れ、句碑の完成を祝いました。続いて、菅野村長と黛さんからあいさつが述べられました。セレモニー後は句碑散策となり、出席者らは黛さんや家族と記念撮影をしたり、句碑を眺めたり、

あいの沢を散策したりと
思い思いに園遊会を楽し
んでいたようです。

黛まどかさん



愛は言葉にしないと相手に伝わりません。愛のメッセージを句碑にして永く残す飯館村の取り組みは、とても素晴らしいこと。この「あいの沢」が、世界の愛の名所になることを祈っています。

俳句の裏には、それぞれ愛の物語があります。私は毎年ここに来て句碑を眺めると、いつもたくさん愛に包まれ心温かい一時を過ごすことができます。入選された皆さんも、この地を第二のふるさとにして下さい。

― 記念セレモニーでの
あいさつから ―

交流会

(会場・きこり)

来賓を代表して、横山村議会議長、加藤貞夫県議会議員、箱崎忠一福島県原子力等立地地域振興事務所長の3人から祝辞が述べられたのに続き、村産の食材を使った料理を囲んでの懇親が行われたほか、今回の入選作品について黛さんから総評が述べられました。



▲交流会のようす

佐藤 優也さん (二枚橋・須賀)



笑いある
うちの家族は
ひまわりだ

今回入選者の最年少。相農飯館分校の3年生で、昨年の「ふくしま駅伝」飯館村チームのキャプテンです。黛さんからの「将来はマラソンと俳句のどちらをしたいですか」の質問に、笑顔で「マラソンです」と答えていました。

林 とみ代さん (うづり国サンプラザ)



秋の旅
夫の遺影と
語りつゝ

園遊会に参加するため20年振りに帰国された林さん。和歌山県の出身で、「東京より北に来たのは初めて」とのこと。この事業のお陰で帰国できました。素晴らしい園遊会で、今日は最高の日」と笑顔で話されました。

十代目 坂東三津五郎句碑除幕式



▲建立した坂東さんの句碑

今回、歌舞伎俳優の十代目・坂東三津五郎さんより、村に愛の俳句を寄せていたことから、同氏の句碑を園内に建立しました。除幕式では、坂東さん、黛さん、菅野村長の3人が除幕した後、坂東さんから俳句の思いなどが述べられました。



▲入選者の句碑を眺める坂東さんと黛さん

坂東三津五郎さん

白菜の樽いっぱいに 母の日々

今回、黛さんの勧めで愛の俳句に応募しました。私の句碑が建つたのは生まれて初めてで、大変感動しています。

この句は、7年前に亡くなった母のことを詠んだものです。家の片付けをしていた時、母が生前に書いた手紙の下書きを見つけました。その手紙を読んだ時、母の強さや私に対する愛を強く感じたのです。それと、向田邦子さん原作の映画「阿修羅のごとく」に出演した時、その中で4人の娘が「お母さんの漬けた白菜おいしいね」と言うシーンが強く印象に残っています。

今年も愛の俳句を応募して、また飯館村にきたいと思っています。

― 除幕式でのあいさつから ―

